

教育改革ICT戦略大会分科会C課題提起

ルーブリック評価の導入と課題： 創価大学AP事業の取組み紹介

2016.9.7

創価大学 学士課程教育機構

副機構長 関田一彦

AP事業テーマI/II複合型とは

テーマ1： 学生の能動的な活動を取り入れた教授・学習法の実施により、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る取組

→ 教員は、アクティブラーニングを通じて学生の汎用的能力を伸ばす

+

テーマ2： 各種指標を用いて学修成果の可視化を行い、その結果を基に教育内容・方法等の改善を行う取組

→ 教員は、アセスメント結果を踏まえた授業改善を行う

本学が採択されたテーマⅠ/Ⅱ複合型の特徴

- 学生は、自己評価ルーブリックを使って自身の汎用的能力の伸長を点検する。
- 学生は、点検結果を共有し、互いの取り組みを認め、さらなる成長を励ます。

励ましの（成長志向の）相互評価文化の醸成

創造的
人間

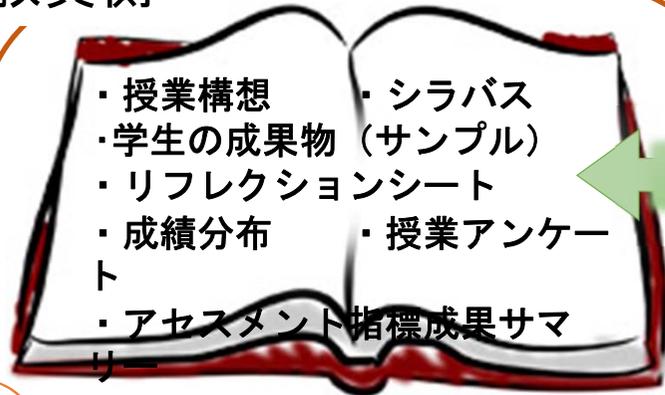
- 教員は、学生の振り返りに基づき、カリキュラムの効果を点検する。
- 教員は、点検結果を共有し、チームとして改善計画を策定・遂行する。

アセスメント科目担当者への説明

- 科目の中で実施されるアクティブラーニングを通じて、どのような能力が、どの程度身についてきたのかを学生自身に点検(自覚)させる科目です。
- アセスメント科目で課される課題や学習活動は、自己評価ルーブリックに対応したものを用意していただきます。(後ろ向き設計でお考えください)
- 学習ポートフォリオを使った振り返り(学生同士の相互評価)を学生にさせます。
- 学生の振り返りや各種データに基づき、アセスメント科目担当者は同僚の先生方と一緒に、授業改善に向けた話し合い(同僚会議)を行っていただきます。
- 入学から卒業に向けて、学部ごとに最低3科目設定します。したがって、学生は卒業までに3回、自己点検の機会を持つことができます。

2つの相互評価活動による学修成果の可視化と改善の試み

教員側



授業ポートフォリオ

同僚

同僚会議

学生の更なる成長のために自分たちには何ができるか、話し合う

同僚

同僚

同僚

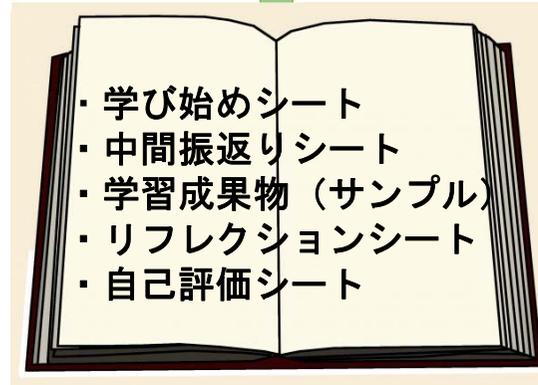
アセスメント
科目担当者

ALマスター
教員

AP推進
チーム

アセスメント科目

PASS(学生による情報収集)



学修ポートフォリオ

シニアSA

学生側



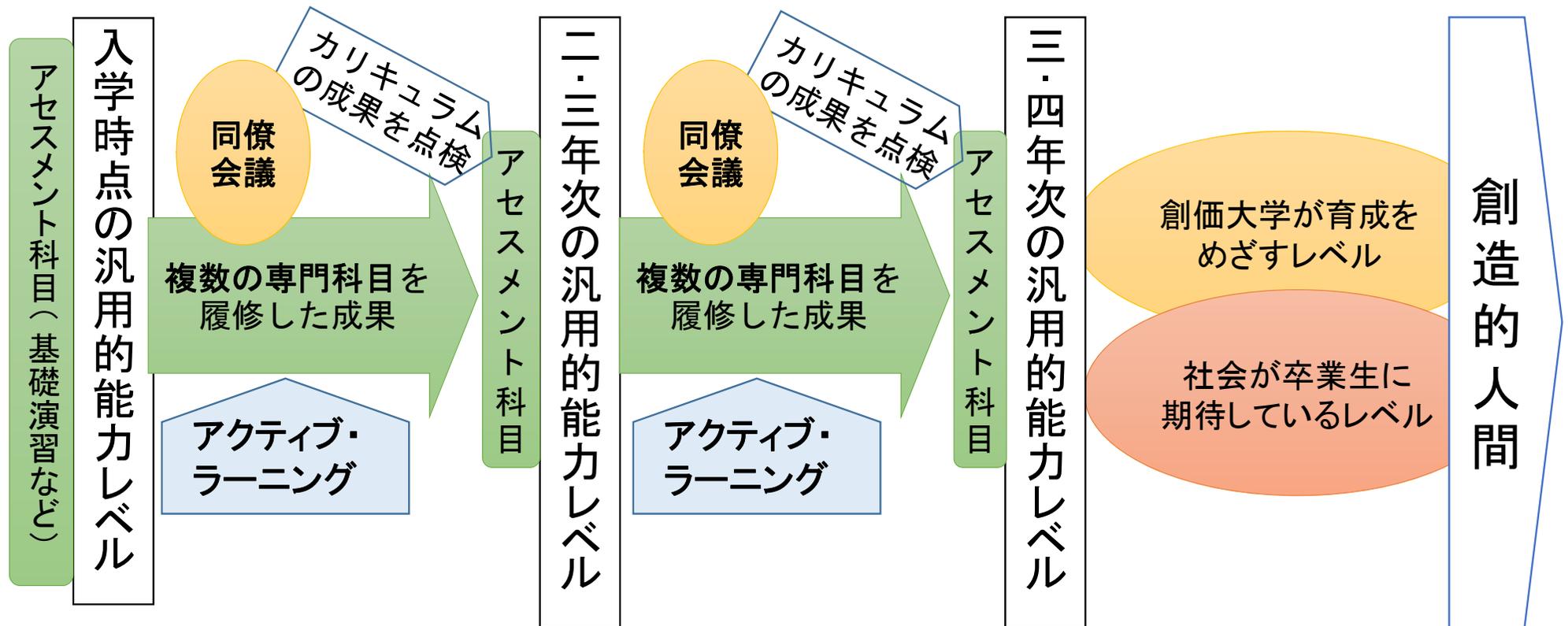
自己点検時の任意な参照

グループ内での相互評価

自己成長記録シート

自己成長記録
データベース

アセスメント科目を介したカリキュラムに責任を持つ教員集団づくり



マイルストーン(新入生)用1: 学期はじめに使用

入学時の学習態度自己点検: 以下の3つの項目を読み、それらについて高校までの自分を振り返り、自身の状態に最も近いと思うものを選びましょう。

項目	状態	4	3	2	1	0
①学びへの計画性 大学での学習は量・質ともに高校時代に比べて倍増します。そして大学生生活は、高校の時より様々に忙しくなります。そこで、計画的に勉強する習慣を身につけることはとても重要です。		十分、身につけていると思います。	たぶん大丈夫だと思います。	あまり自信がありません。	まったく身につけていない気がします。	よく分かりません。あるいは、判断が付きません。
②学習者としての自覚 大学の授業で出される課題は、担当する先生の様々な考えが反映されます。出題の意図や評価の基準をしっかりと理解することが大切です。自分勝手な思い込みで判断・行動しても良い結果はでないでしょう。丁寧に課題に取り組む姿勢が大切です。		今までも、課題の意図や指示を確かめながら学んできました。大学生になっても更に丁寧に課題に取り組みます。	課題は丁寧に取り組んで来たと思いますが、少し不安です。よりいっそう気をつけて取り組みたいと思います。	課題は先生の言われた通りにやってきたつもりですが、自分で確かめたことはありません。丁寧に取り組めるかどうか心配です。	今まで、課題の意図を考えて取り組んだことは、ありませんでした。これからも、あまり考えないと思います。	
③対人関係力 大学生活を充実させ、勉強面でも互いに刺激し合える友人を持つことは大切です。そのためには、自ら進んで周囲に働きかけ、友人をつくることも必要でしょう。		今までも、友人はたくさんいました。中には勉強面で励まし合える友達もいます。これからはそうした友人を作っていきます。	今まで友人はたくさんいましたが、勉強面で励まし合える友人を特に意識したことはありません。これから作っていききたいと思います。	今まで友達が多い方ではありませんでした。これからは、勉強面で励まし合える友人を作っていききたいと思います。	今まで友達が多い方ではありませんでした。これからも、あまり友達を作っていく自信がありません。	

この授業への期待・抱負(学期終わりにどんな知識や技能を身につけていきたいか)、箇条書きにしてみよう。

チェック表の使い方(案)

- ①上のチェック表(学習態度点検表)は学期はじめに実施します。新入生は自己点検後、このシートをポートフォリオに保管します。
- ②学期途中に振り返る機会があれば、このシートを使って、学期当初の自分との比較を促します。そこでの気づきがあれば書き残させます。
- ③学期終わりに「終了時点検」を行います。学生はポートフォリオを使った振り返りを行い、それをリフレクションシートにまとめます。その際、「学習態度点検表」(本ルーブリック)と「終了時点検表」を比べながら、自身の成長変化について気づいたこと、考えたことを書き出します。
- ④15週目にはリフレクションシートとポートフォリオを使った相互評価活動を行い、自己成長記録シートを完成させます。

タッチストーン(2年生)用：学期はじめに使用

学校研究

学部学科
教育 学部 教育 学科

氏名

学籍番号

0	0	0	0	0	0	0
7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9

作成日

月	日
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

学期はじめの学習態度：自己点検シート

本学は、皆さんが「創造的人間」に成長することを願って、さまざまな授業を提供しています。そして創造的人間たる前提として、自立的学習者であることが期待されます。そうした姿勢や能力がどの程度身につけているのか、今までのあなたを自己評価してみてください。以下の項目ごとに、あなたの現状に近いレベルに○をつけてください。

①計画遂行力
学期を重ねるごとに専門性の高い授業が増えていきます。キチンと成果が得る学習を行うために、効率的な学習計画や時間管理は必須です。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
私は、授業の進行に応じてシラバスは必ず確認し、計画的に学習して授業には臨むようにしている。加えて、シラバスにある到達目標を参考に、自分なりの学習目標を立てて取り組むようにしている。	履修時にはもちろんシラバスを確認し、授業内容について見通しを持って臨むようにしてきた。取り立てて自分の目標を設定して臨むことはなかったが、課題や宿題の提出予定を踏まえて余裕をもって準備できたと思っている。	授業で学ぶ内容について見通しをもつて臨むことの大切さを感じるが、なかなか実際には取り組めていない。(あるいは、シラバスを事前に読むなど、計画性をもって物事に取り組むのは苦手なのかもしれない)。	今まで、宿題や課題は期日が迫ってから取り組んできたし、それで何とかなっている。シラバスを事前にチェックして、勉強計画を立てることはないだろう。	自分のことですが、よく分かりません。あるいは、判断が付きません。					

②情報収集力
様々な情報源から、多角的に情報を集め、効率よく精査しながら客観的、あるいは合理的な結論を導く力は、どんな学問分野や職業領域でも重要です。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
教科書や指定参考書だけでなく、必要があれば、図書館の検索システムを使って、他の関連文献を調べることもある。また、授業の話題に関連しそうな言葉や内容についてWebで調べる際は、複数の情報源・サイトをチェックするように意識している。	予習(復習)の際に、分からない言葉や内容について丁寧に調べている。その際、いくつかのサイトを比べてたりして、情報の正確さについては意識している。授業で参考書が指定・紹介されたら、なるべく読むように心がけてはきたつもりだ。	予習(復習)の際に、分からない言葉や内容について、とりあえずWebで調べることが多い。他のサイトも調べて、それ以上の情報を求めたりはしない。授業で参考書が指定・紹介されても、わざわざ読むこともあまりない。	今まで私は、あまり予習(復習)はしてこなかった。必要があつて勉強するときでも、分からない言葉や内容をいちいち自分で調べることは余りしない。分からない言葉があつても、授業はだいたい分かるし、友達に聞けば用が足りると思う。	自分のことですが、よく分かりません。あるいは、判断が付きません。					

マーク例

良い例 悪い例

※鉛筆またはボールペンでマークしてください。
※機械で読み取りますので折り曲げたり、濡らしたり、汚したりしないでください。

※裏面もあります。

③自己調整力

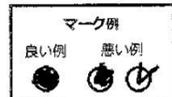
目標達成に向けて、粘り強く取り組むことは、大学生活においても、その後の人生においても重要です。そのためには自分の状況を正しく認識し、次に何をすべきかを判断する力が必要です。

8	7	6	5	4	3	2	1	0
			●					
<p>学期の進捗に合わせて、自分の取り組みを振り返り、目標に到達しつつあることを確かめながら授業に参加しました。</p> <p>課題に行き詰りそうになったら、立ち止まって改善策を考えました。そして自主的に対応を考え、軌道修正しながら課題をやり遂げました。</p>	<p>今まで、失敗や行き詰りを感じたら、その時は立ち止まって善後策を考えるようにしてきました。</p> <p>そんなときは、周囲に助言を求めて、言われたとおりに軌道修正も試みました。</p>	<p>計画は立てても、自発的に取り組みを振り返ることはしませんでした。うまくいかないときでも、一生懸命に取り組むことが大事だと思います。</p> <p>成功するまで、一度決めたやり方で何度でも繰り返してみます。</p>	<p>今まで私は、自分の取り組みを振り返る必要性をあまり感じませんでした。</p> <p>うまく行かない時は、誰かが邪魔したり、足を引っ張ったりすることが多いと思います。自分としては、特に問題なくやっていると感じていても、思ったより評価が低いことが多かったと思います。</p>	<p>自分のことですが、よく分かりません。</p> <p>あるいは、判断がつきません。</p>				

④対立調整力

チームで課題に取り組む機会は、社会に出ても多い。本当に良い成果を求めるなら、意見の対立など恐れず、互いの考えを主張しあい、しっかり合意形成することが大切です。クラスメイトとのグループ学習は、そうしたコミュニケーション力を磨く機会になります。

8	7	6	5	4	3	2	1	0
		●						
<p>私は、相手の主張の良いところは聞き入れ、自分が正しいと思うことは率直に相手に伝えてきました。そうすることで、双方の大事な点が共有され、相互理解ができると思います。</p> <p>仲間同士の間で意見の対立が起きても、論点を整理し、目標達成に向けて全員の気持ちを調整することができます。</p>	<p>今までのグループ活動を振り返ると、相手の意見を正しく評価し、良いところは受け入れようと努力していました。グループとしての相互理解や一体感があったと思います。</p>	<p>私は、自分の意見を主張して相手を納得させるより、相手の意見に合わせてきました。メンバーが気分を害することなく、話し合いがスムーズに進むことが大切だと思います。</p> <p>ただ、私の意見が通っていただ、もっとうまくいったに違いない、と思うこともありました。</p>	<p>私はグループ活動で足を引っ張るメンバーがいると、本当に迷惑に感じます。そうしたメンバーは、皆で支えるより、早く代えてほしいと思ってきました。</p> <p>ただ私は、そうしたメンバーに自分の気持ちを率直に伝え、グループとして改善を働きかけるようなことはしてきませんでした。</p>	<p>自分のことですが、よく分かりません。</p> <p>あるいは、判断がつきません。</p>				



※鉛筆またはボールペンでマークしてください。
 ※機械で読み取りますので折り曲げたり、濡らしたり、汚したりしないでください。

※こちらは裏面です。

学期終わりの学習態度自己点検シート

※以下の項目を読み、それらについてこの授業での自分を振り返り自身の状態に最も近いと思うものを選びましょう。

①計画性

入学から今までの学びを基に、いよいよ専門性の高い授業が増えていきます。きちんと成果が出る学習を行うために効率的な学習計画や時間管理は必須です。

学部学科	
学部	学科
氏名	

学籍番号							
0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9

9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
私は、授業の進行に応じて、シラバスは必ず確認し、計画的に予習して授業には臨むようにしてきました。特に、シラバスにある到達目標を参考に、自分なりの学習目標を立てて取り組みました。前もって見通しを立てて取り組む、という姿勢は十分に身につけていると思います。	履修時はもちろん、授業の進行に応じてWebシラバスを確認し、授業内容について見通しを持って臨むようにしてきました。取り立てて自分の目標を設定して臨むことはありませんでしたが、課題や宿題の提出予定を踏まえて余裕をもって準備できたと思っています。	この授業を通じて、授業で学ぶ内容について見通しをもって臨むことの大切さは感じますが、なかなか実際には取り組みませんでした。あるいは、(シラバスを事前に読むなど、計画性をもって物事に取り組むのは苦手なのかもしれません。)	この授業でも、宿題や課題は期日が迫ってから取り組んで、それで何とか済みました。これからはシラバスを事前にチェックして、勉強計画を立てることはないでしょう。私には、前もって見通しを立てて取り組む、という姿勢が身につけていないと思います。	自分のことですが、よく分かりません。あるいは、判断が付きません。					

②情報収集能力

様々な情報源から、多角的に情報を集め、効率よく精査しながら客観的、あるいは合理的な結論を導く力は、どんな学問や職業領域でも重要です。

作成日	
月	日
0	0
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

マーク例

良い例 悪い例

9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
教科書だけでなく、様々な参考文献に目を通すようにしてきました。必要があれば、図書館の検索システムを使って、他の関連文献を調べることもありました。また、授業の話題に関連しそうな言葉や内容についてWebで調べた際、複数の情報源・サイトをチェックするように意識しました。	予習(復習)の際に、分からない言葉や内容について、Webで調べてみました。その際、いくつかのサイトを比べたりして、情報の正確さについては意識しています。授業で参考書が指定・紹介されたら、なるべく読むように心がけてはきたつもりです。	予習(復習)の際に、分からない言葉や内容について、たまにWebで調べてみました。とりあえず欲しい情報が見つければ、それ以上の情報を求めたり、情報の正確さを気にすることはありませんでした。授業で参考書が指定・紹介されても、わざわざ読むことはありませんでした。	この授業では、私はあまり予習(復習)しませんでした。必要があっても勉強するときでも、分からない言葉や内容をいちいち自分で調べることもしませんでした。分からない言葉があっても、授業はだいたい分かるし、友達に聞けば用が足りました。とりあえず重要なことを覚えておけば、なんとか済みました。	自分のことですが、よく分かりません。あるいは、判断が付きません。					

タッチストーン（2/3年次）用

学期はじめ(今までは) / 学期終わり(今学期は) 得点範囲 0~9点

項目： 自立的学習者である大学生に必要な姿勢や能力	はじめ	おわり	差
<p>①計画性</p> <p>入学から今までの学びを基に、いよいよ専門性の高い授業が増えていきます。キチンと成果がでる学習を行うために、効率的な学習計画や時間管理は必須です。</p>	4.94 (5)	5.73 (6)	.79
<p>②情報収集力</p> <p>様々な情報源から、多角的に情報を集め、効率よく精査しながら客観的、あるいは合理的な結論を導く力は、どんな学問分野や職業領域でも重要です。</p>	4.62 (5)	6.05 (6)	1.43
<p>③自己調整力</p> <p>目標達成に向けて、粘り強く取り組むことは、大学生活においても、その後の人生においても重要です。そのためには自分の状況を正しく認識し、次に何をすべきかを判断する必要があります。</p>	5.35 (6)	5.91 (6)	.56
<p>④対立調整力</p> <p>チームで課題に取り組む機会は、社会に出てからも多いものです。チームが一丸になって取り組むためには、各自が互いの考えをきちんと吟味し合い、取り組み方に関する合意形成が必要です。そのためには、意見の対立など恐れず、互いの考えを主張することは大切です。クラスメイトとのグループ学習は、そうしたコミュニケーション力を磨く機会です。</p>	5.54 (6)	6.43 (6)	.89

相互評価におけるルーブリックの活用

相互評価活動の概要

- 個人評価ルーブリック(学習態度自己点検シート)は、学期はじめと学期終わりでの成長変化を自己評価する際の目安です。
- リフレクションシートに、その点に関する気づきを書き留めてあります。
- 学期末の相互評価では、個々人にその科目を通じての取組みと達成具合を仲間に説明させます。
- 仲間は、その説明を聞いて、その妥当性を確認し、さらなる成長に向けた提案(アドバイス)や励ましのコメントをします。
- 学生は相互評価を受けて、改めて自身の取組みを振り返り、自己成長記録シートを作成・提出します。

学生の声

- 他者の取組みを聞いて、自分も次はこのように学習していこうと思えた。
- 自身の学びに対して相手から質問されることで、より振り返りでの学びを深めることができたなど感じた。

学生の声

- はじめと今を比較しても、ほとんど同じ数値に印をつけていた。もう一度考え直してみると、対立調整力はアクティブラーニングを通じて、仲間と助け合いながら学ぶことができ、はじめと比べて力がついたと実感している。
- ルーブリックを使っただけの点検では、計画性について大きく成長することができたと感じている。自己調整力についても目標達成に粘り強く取り組むことができ、勉学への執着心というものが生まれ、自分の学習の原動力になっていることに気づくことができた。これらの変化は自分が望んでいたものであり、嬉しく思っている。
- ある変化がありました。最初は自分の頭でしっかり考え、問題解決や多面的分析をしようという意識がとても強かったのですが、この授業を通じ、他者から学ぶ姿勢がとても身につく、自分で考えるだけでなく、他者の意見を聞き、そこからもっと考えを深めようという意識に変わっていきました。

自己点検の共有が新たな気づきを生む

自己成長記録シート

※機械で読み取りますので用紙を曲げたり汚したりしないでください。

学籍番号							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
①	①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

作成日		氏名
月	日	
①	①	
①	①	
②	②	
②	②	
③	③	
③	③	
④	④	
④	④	
⑤	⑤	
⑤	⑤	

自己成長記録シートは、リフレクションシートを使った相互評価活動を通じて、改めて考えたり、気づいたりしたご自身の成長変化や成長への課題について書き残しておくためのものです。このシートは専用のデータベースに保存され、在学中はいつでも検索し、見返すことができます。学年を上がる度に読み直してみるといいでしょう。

1. 相互評価を通じて気づいたこと

2. これからの学生時代を通じて、改めて取り組みたい(伸ばしたい)と思ったこと、そのための取り組み方法

3. そのことに取り組む意義や価値、そして取り組む自分への励ましの言葉

ルーブリック（学習態度自己点検シート）のスコア

+

PDF化した自己成長記録シート

自己成長記録データベースに蓄積

自己評価の蓄積を振り返り、自身の学びを再点検する機会の提供

ご清聴ありがとうございます